

みなさん

長崎大学人 河野 茂です。

4日に今年最初の「月曜通信」をお届けし、続けてのメールとなります。

前回、少し山登りの趣味の話題に触れました。今回は趣味のお話です。

年末に、8年ぶりに開催された「長崎大学フォトコンテスト」の表彰式に出席しました。

作品からは、皆さんの目に大学がどのように映っているのか、あるいは皆さんの大学生活の様子をうかがい知ることができ、興味深く見せてもらいました。

以前は、撮影を趣味にするとすればカメラを購入し、常に持ち歩き…とハードルが高いものでした。

しかし、今はスマホを使って誰でも手軽に写真を撮れるようになり、それがきっかけで撮影を趣味にする人も増えていると聞きます。

撮影に限らず何か趣味を持つことは、大切なことです。

趣味は、学生生活に限らず、年齢を経てもなお、生活に張りや楽しみ、さらには人間関係を広げることにもつながります。

私自身、初対面の人と趣味の話がきっかけで、つながりを深めることができたことが一度ならずあります。

そして处世術に役立つことより何よりも、趣味の持つ最大の力は、どのような環境に置かれても楽しみを見出せる、ということにあります。

コロナ禍による様々な制約も次第に緩和されてきているとはいえ、この3年間、行き詰まりを感じている人も多いでしょう。

受講スタイルがオンラインに変わり、サークル活動も思うようにできないなど環境の変化に対し、皆さんそれぞれ閉塞感打破のための策や心の持ちようを模索してきたことと思います。

今年は、「With コロナ」に向けた動きが加速する年になります。

それは言い換えれば“コロナありき”の生活であり、コロナ以前に戻るということではないことを意味します。

その新しい環境の中でいかに楽しめることを増やすかを考える時、趣味はとても大きな役割を果たすように思うのです。

講義が本格化する前に、ぜひ一度自分の趣味についても考えてみてください。

最後にもうひとつ。趣味には実に扱いにくい性質もあります。

それは、自分の趣味を人に知ってもらいたい、成果を人に見てもらいたいという、いかんともしがたい衝動を伴うということです。

私は、山歩きのほかにも、書道やゴルフ、ドライブなどを趣味としていますが、歌を歌うこともその一つです。

声を出すこと、歌詞を覚えることは頭の体操にもなりますが、何より精神的に気持ちいいですね。

カラオケ好きの人なら共感してくれるものと思います。

こちらのサイトに最近練習してきた歌の成果をアップしたので、興味のある人はぜひ見てみてください。

<https://youtu.be/kl7zfcvV6KM>